

令和4年度 学校経営方針

令和4年4月
大分大学教育学部附属小学校長 木村典之

1. 附属小学校の使命

- (1) 地域教育への貢献
地域の先進的・先導的なモデル校として、大分県教育委員会と連携して実践し、情報を発信する。
- (2) 教育実習生等への指導
地域の教育課題をふまえた教育実習を計画し、直接その指導にあたる。
- (3) 大学への協力
教職大学院及び学部教員と協力し、教育理論と実践の往還を通じた実証的な研究を行う。

2. 学校教育目標

グローバルリーダー(Think globally, act locally)の育成

～未来へ向かって高い志を持ち、人や社会と豊かに関わり、

自己を磨き高め合う子どもの育成～

3. 重点目標

(1) 生きて働く知識・技能の習得

- ・すべての学習の基盤となる言語能力
- ・人間関係を豊かにし、社会生活を円滑におくる文化としての礼儀やマナー
- ・目標に向かって粘り強く取り組む忍耐力や持久力

(2) 未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力の育成

- ・情報を整理・分析し、組み合わせて新しい関係性を創出する情報活用能力
- ・社会や集団の一員として自分の役割を果たそうとする「公(公共)」の意識
- ・自分の心身や自己の学びを振り返る自己認知力(メタ認知)

(3) グローカルな視点を持ち、世界やふるさとに貢献できる人間性の涵養

- ・協働したり、折り合いをつけたりする調整力
- ・異なる意見や立場を尊重する寛容の心
- ・自ら正しいと信じてるところに従って主体的に行動する自律性

(4) 働き方改革の推進

- ・改革マインドの継続(スクラップ&スリム、勤務時間の適正化)
- ・ミドルリーダーを育成する学校組織マネジメント
- ・更なる改革に向けた学校評価とPDCAサイクルの充実(学校評議員会等)

5. 重点的取組

(1) すべての教育活動を下支えする安心・安全な学校の実現

- ①共感的人間関係を醸成する生活指導
 - ・主体的、積極的に「きく」指導（フリートーク、褒め言葉のシャワー等）
 - ・取組を価値づけ、成長を実感させる指導（価値語、成長ノート等）
- ②公共の意識の醸成と徹底した生活指導
 - ・公で通用するための基礎を培う3つの取組（挨拶、掃除、はきものそろえ）
 - ・チーム活動による役割遂行と自主性・主体性の促進
- ③予防的・積極的生徒指導の強化
 - ・子どもからサインをキャッチ、休み時間の観察等
 - ・SC、SSW等専門スタッフとの連携
- ④危機管理体制の強化
 - ・教頭と各種担当者との連携のもと行う初動を誤らない危機対応
 - ・健康安全指導部を中心とした防犯・救急研修の充実。全職員による高い当事者意識
 - ・チーム支援を活用した組織的ないじめ対策・不登校対応

(2) 地域のモデル校としての魅力ある学校づくりの推進

- ①外国語教育の一層の充実と地域への環流（外国語セミナーの開催）
 - ・学校の特色として、全学級で取り組む外国語・外国語活動の授業
- ②GIGAスクール構想にもとづくICT活用実践の蓄積と発信
 - ・一人一台端末を効果的に活用した情報活用能力を高める授業づくり
- ③地域と繋がり教科を横断する「生活科・総合的な学習の時間」の実践・発信
 - ・思考ツール活用による思考力・判断力・表現力の育成
 - ・子どもが自ら問いを見いだし、学び進める探究的な学習の充実

(3) 教員の力量を高め、持続的・発展的に進める授業改善

- ①大分県の教育課題を踏まえた教育実践
 - ・新大分スタンダードをふまえた授業改善
 - ・授業公開（大分県教育委員会との連携強化、指導主事による助言等）
 - ・大分県教育課程研究協議会への取組
- ②指導教諭・研究主任・学年主任等の授業観察や日常的な授業公開を通じた着実な授業力の向上（授業観察シートの活用）
- ③教育活動の質の向上をめざすカリキュラムマネジメント推進
- ④自学自習ができる「自律した学習者」をめざした学習指導の充実

(4) 使命や要請に応えることのできる学校組織の構築

- ①組織マネジメント
 - ・主幹教諭を中心とした組織的な対応の充実
 - ・意思決定機関としての運営委員会の充実（学校経営への参画）
 - ・統括学年主任を中心とした学年経営マネジメント（PDCAサイクル）の充実
 - ・ICT推進部によるICT活用研究の組織的な推進
 - ・服務規律の徹底（個人情報適切な管理、非違行為0、ハラスメント撲滅）
 - ・接遇マナーアップ
- ②連携・協力
 - ・附属幼・中・特、大学、教育委員会、教育関係機関等との連携・協力
 - ・保護者、地域、PTA、後援会等との連携・協力